

凡事徹底の学校

「凡事徹底」は、野田中学校のスローガンともいうべきものです。生徒の皆さんの間にも浸透（しんとう）している言葉なのではないでしょうか。

この「凡事徹底」について調べていくと、2人の人物にたどり着きます。一人は、日本を代表する電器メーカーを一代で世界的企業に育て上げた松下幸之助さんです。松下さんは、日本を代表する名経営者でもあります。

松下さんは、人を育てることを考えていました。その方針の一つが「凡事徹底」です。これは、整理・整頓・清潔・清掃・躰（しつけ）の「5S」に始まり、道を歩くときはポケットに手を入れない、靴を脱いだらまっすぐそろえるといった日頃の身の回りのことをきちんと行う習慣を身につけさせることで、人を育てていくという考え方です。

もう一人は、自動車用品メーカーを一代で大企業に育て上げた鍵山秀三郎さんです。鍵山さんは、「トイレの神様」「掃除の神様」と呼ばれています。鍵山さんは、自分の会社の社員の様子を見て、心を育てようと考えました。

そして、社内の清掃、トイレ清掃に力を入れました。最初は、一人でトイレ掃除を始めました。すると、社員が手伝うようになりました。会社の雰囲気をよくするために鍵山さんは掃除を続けました。やがて鍵山さんに掃除を学ぼうと、鍵山さんの会社には全国から人が集まるようになりました。

鍵山さんは、「日本を美しくする会」をつくり、全国各地に赴（おもむ）き、掃除の指導をしています。この会の活動は海外にも広がっています。広島では、警察と連携して犯罪行為に関わった若者のグループと公園の清掃を行いました。それがきっかけで若者のグループは解散しました。新宿で清掃活動を行うと犯罪率が低下しました。場がきれいになると、人の心もきれいになるのです。

「凡事徹底」は、今では全国の学校にも広がっています。野田中学校もその一つです。難しいことではなく、当たり前で何でもない小さなことである凡事をひたすら続けていけば、必ず実るものがあるのです。大きな結果は、凡事の積み重ねの上にあります。

凡事とは、平凡なことです。これを徹底してできるように繰り返すことは、一人前の大人としての基礎を築くことにつながります。例えば、靴やスリッパを脱ぐとき、きちんと向きを変えて先端をそろえていますか。食事が終わって立つとき、席を元の位置にサッと戻していますか。学校でお客さんとすれ違ったとき、相手の目を見てからしっかり立ち止まり、「こんにちは」とあいさつをし、その後丁寧に辞儀をしていますか。野田中学校には、実際にできている人がいます。ここまで徹底してやるのが「凡事徹底」なのです。

野田中学校は、これからも「凡事徹底」の学校として、皆さんの心を育てていきたいと考えています。